

平成29年度 総合目録ネットワークへのデータ提供に関するアンケート 結果

アンケート回収率

63/68 館	92.6%
---------	-------

2017年10月23日～2018年2月28日実施

※中央館が分館についても回答する都道府県については、中央館のみを回収対象とした。

1 今後のシステム入替の予定について

平成29年度中	6
平成30年度中	9
平成31年度中	11
平成32年度以降	16
時期未定	2
予定なし	19

システム更新予定がある館のデータ形式の変更予定について

予定あり	3
予定なし	18
未定	14
データ未提供館のため設問なし	7

変更内容

	(のべ)
ID体系変更	0
MARCタイプ変更	0
DC-NDL(RDF)フォーマット切替	0
OAI-PMHのリクエストURL等	3
共通フォーマット版変更	0

ID体系変更の際は、全データの入替えが必要となります。また、DC-NDL(RDF)フォーマットへの切替、OAI-PMHのリクエストURL等の場合も、書誌詳細画面への直接遷移を実現するため、原則、全データの入替が必要です。

なお、MARCタイプ変更への切替えおよび、共通フォーマットの版変更が生じる場合は、リプレース後の新システムから抽出された初回差分データを確認します。

上記のいずれかに該当する場合は、事前にご相談をお願いします。

2 図書館システムについて

図書館システムのベンダー

富士通	26
NEC	22
NTTデータ	6
日立製作所	3
その他	6

OAI-PMHへの対応状況（国立国会図書館サーチとのOAI-PMH連携済、連携調整中の館を除く）

対応している	5
ILSパッケージが対応を予定している	0
対応していない	21
分からない	0

書誌詳細画面の直接表示（国立国会図書館サーチとのOAI-PMH連携済館を除く）

できる	15
できない	4
分からない	0

国立国会図書館サーチでは、OAI-PMH（メタデータを交換する標準的な仕組み）という人手を介さない自動的なデータ連携を推奨しています。また、OAI-PMH連携に伴い、国立国会図書館サーチの書誌詳細画面から資料所蔵館OPACの書誌詳細画面へ、直接リンクする仕組みを実現しています。

データ提供方式を従来のFTPやHTTP-GETからOAI-PMHへ切替えるため、システムリプレース等のタイミングで図書館システムへのOAI-PMH実装をご検討いただければと思います。国立国会図書館サーチとのOAI-PMH連携に関する説明は、下記ページでご覧いただけます。

[国立国会図書館サーチについて](#) > [国立国会図書館総合目録ネットワークデータ提供館の方へ](#)

3 MARCについて

利用MARC	(のべ)
TRC-MARC	55
自館作成	40
JAPAN/MARC	28
NS-MARC(日販)	10
トーハン	9
NACSIS-CAT	5
OPL-MARC(大阪屋)	2
OCLC(紀伊国屋)	2
丸善	1

4 横断検索システムについて

県域横断検索システムのベンダー

富士通	21
NEC	8
NTTデータ	6
日立製作所	3
その他	7

OpenURL対応

対応している	5
対応していない	21
分からない	1

横断検索の実現方法

横断検索の実現方法	(のべ)
スクレイピングで抽出	30
ベンダー仕様のプロトコルにより書誌データを交換	23
WebAPI	8
カーリルUnitradAPI	4
市町村立が書誌データを送付	3

今後検討している横断検索の実現方法

今後検討している横断検索の実現方法	(のべ)
カーリルUnitradAPI	8
WebAPI	3
スクレイピングで抽出	2
ベンダー仕様のプロトコルにより書誌データを交換	2
市町村立が書誌データを送付	1

5 データ提供方法・頻度について

“和図書”以外の条件指定

指定している	22
していない	33

更新データ転送の自動化（国立国会図書館サーチとのOAI-PMH連携済館を除く）

している	7
していない	10

更新データ転送の頻度（国立国会図書館サーチとのOAI-PMH連携済館を除く）

毎日	1
毎週	5
隔週	2
毎月	5
年に数回	2
その他	3

6 OAI-PMHへの切り替えに関する主なご意見・ご感想・ご質問

【OAI-PMHへの切替えのご感想】

OAI-PMHに切り替えて運用が楽になった。

書誌の固有 URL を提供することにより、総合目録の検索結果から、当館の当該書誌に直接アクセスできるようになった。

→(国立国会図書館の回答。以下同様)

連携方式をOAI-PMHへ切替えると、以下の利点がございます。

- (1) OAI-PMHにより自動的にデータが収集されるため、手動でデータを配置いただく作業が不要になります。
- (2) データの更新頻度が上がります。日次(毎週月～金)で収集・更新することが可能です。
- (3) 国立国会図書館サーチの検索結果から、データ提供館様の当該書誌へ直接リンクすることができ、ユーザビリティの向上につながります。(切替え前には、国立国会図書館サーチの検索結果からデータ提供館のトップページにしかリンクできなかったため、データ提供館側のOPACに遷移後改めて資料を検索する必要がありました。)
- (4) 外国語資料や逐次刊行物等についても、データをご提供いただき、国立国会図書館サーチで検索できるようになります。(切替え前には提供対象外だった資料種です。)

切替え準備期間には、ベンダー様をはじめ各所とのご調整にご対応いただき誠にありがとうございます。これまでの実績を今後に生かし、よりスムーズな連携調整を目指してまいります。引き続きご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

【従来の連携方式からの切替え作業について】

切替え準備に多大な時間とかなりの労力を要したが、切替え後はデータ転送を意識せずに済むようになっている。切替えにかかる時間は大幅に短縮する必要がある。

前回のシステム更新を機にOAI-PMHへの切り替えを行い、2年経過したにも関わらず、未だベンダーとの調整中とのことで、運用できていない。他の館でも同じような状況なのか、当館のみに原因があるのかわからないが、早期に運用を開始したい。

→切替え作業を早く終えるため、以下の点にご協力をお願いいたします。

- (1) 以下の資料に沿った形でデータ提供システムを構築していただくようお願いいたします。

- ・WebAPIによるシステム連携ガイドライン

- ・OAI-PMHの要点

- ・国立国会図書館サーチとのOAI-PMH連携時に障害となるポイント(近日掲載予定)

これらはデータ提供システム構築の基礎となる資料です。以下のページに公開しています。

国立国会図書館サーチについて > 国立国会図書館総合目録ネットワークデータ提供館の方へ

<http://iss.ndl.go.jp/information/somoku/>

- (2) データ提供システムに、(1)の資料に沿わない点があった場合はデータ連携が困難になります。

状況改善のために、図書館様のベンダーご担当者様のご対応が不可欠となる場合が多く、長期にわたり問題が解消されない場合には、その分、切り替えまでの期間も長くかかってしまいます。

ベンダー様と当館システム担当者と直接ご連絡させていただいている場合にも、図書館様とベンダー様にて情報を共有していただき、図書館様にも状況確認などのご協力をいただけますと大変ありがたく存じます。

【OAI-PMH切替え後のシステム更新について】

・OAI-PMHへの切替え後、システム更新時にデータの全件入替が必要になったが、作業に時間がかかっており、現在もデータ更新が停止したままである。システム更新時等は連絡を密にすることが必要であることがわかった。

→システム更新時は、特に以下の点について、前システムの設定を引き継いでいただけますようお願いいたします。

(1) OAI-PMHの返戻情報に含まれる<header>のうち<Identifier>

(2) データ提供館側の書誌詳細画面URL

上記のいずれかが変更となる場合は、データの全件入替が必要となります。全件データを媒体で提供いただけるようご準備をお願いします。

【図書館名変更に伴う作業について】

OAI-PMHに切り替えてから転送を意識することがなくなってよかった。しかし館名を変更したところデータの全件入替が発生し、その作業が中々うまくいかなかったのが残念であった。

→館名をご変更される場合、以下のように進めさせていただきます。

(1) 館名のご変更のご予定を、事前にお知らせください。

(2) 全てのデータが修正対象となるため、全件データ入替が必要です。実施時期を調整させていただきます。

(3) 実施時期が確定した後、館名を修正したデータをご用意ください。

(4) 国立国会図書館サーチに(3)を登録し、データを更新します。

7 総合目録ネットワークへのデータ提供全般に関する主なご質問・ご意見

児童書総合目録も総合目録と同様に自動収集する仕組みにしてほしい。

→ご意見に添えるよう、検討を進めてまいります。

総合目録ネットワークへのデータ提供に申し込んでから、実際に運用が開始されるまでの期間は半年程度とホームページに記載されているが具体的なスケジュールについてお教えてほしい。

→データ提供には、総合目録共通フォーマットをFTP(もしくはHTTP-GET)で連携いただく場合と、DC-NDL(RDF)フォーマットにてOAI-PMHで連携いただく場合の2パターンがあります。

標準的には以下のようなスケジュールとなります。

(1)総合目録ネットワークへのデータ提供にお申込みいただく

→1週間以内に回答を差し上げます。

(2)データ提供館側システムを改修していただく(OAI-PMH連携のみ)

→OAI-PMHの仕様や国立国会図書館サーチ連携ガイドライン等に沿った形で構築してください。

(3)インタフェース仕様書やサンプルデータをお送りいただく(OAI-PMH連携のみ)

→データやシステム仕様に問題があった場合は、修正にご対応いただく期間が発生します。

(4)全件データをご用意いただく

→データやシステム仕様に問題があった場合は、修正にご対応いただく期間が発生します。

(5)国立国会図書館側でテスト実施

→テスト自体は、データ提供館側システムの本番環境で全件データを取得可能になった段階から【1か月】を目途に完了します。

→データやシステム仕様に問題があった場合は、修正にご対応いただく期間が発生します。

(6)運用開始

初めて総合目録ネットワークにデータ提供する際、障害となることがあれば教えてほしい。

→OAI-PMHによるデータ提供にあたっては、まずはこちらのページをご参照ください。

国立国会図書館サーチについて > 国立国会図書館総合目録ネットワークデータ提供館の方へ

<http://iss.ndl.go.jp/information/somoku/>

上記のページに、データ提供システム構築の基礎となる資料を掲載しています。

以下の資料に沿った形でシステムを構築していただくようお願いいたします。

・WebAPIによるシステム連携ガイドライン

・OAI-PMHの要点

・国立国会図書館サーチとのOAI-PMH連携時に障害となるポイント(近日掲載予定)

今後もこちらのページ等にて実績をふまえた情報の提供を行ってまいります。

アンケートのご協力をありがとうございました。
いただいたご意見は、今後のゆにかねっと運営に活用してまいります。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。